

令和6年度
札幌市民交流プラザ
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

| | | |
|-----|--------------------------------|----|
| I | 管理業務の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| II | 管理業務に係る収支決算・・・・・・・・・・・・・・・・ | 24 |
| III | 管理に関する協定書 第34条に規定する自主事業の実施状況・・ | 25 |

I 管理業務の実施状況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

「文化芸術活動及び生涯学習の振興並びに人々の来訪及び交流の促進を図り、もって市民の創造性を育むとともに、市民生活の向上を実現するほか、地域のにぎわいの創出に寄与する」というプラザの設置目的に基づき、以下の6つの基本方針を策定した。財団統一で策定した中期経営計画に基づき、当財団だからこそ実現可能な主催事業や当財団が管理運営を行う他施設との連携事業などを通じて、市民の多様なニーズを捉えたオリジナリティに溢れた施設運営に取り組んだ。

- ① 良質かつ多彩な文化芸術の提供と北海道発の文化芸術の創造
- ② 文化芸術の水準を高める拠点としての役割
- ③ 今後の文化芸術を担い、支える人々の育成
- ④ すべての人々が文化芸術を享受できる開かれた施設
- ⑤ あらゆる人々がつながり、交流するにぎわいの空間
- ⑥ 安全・安心・快適な施設環境の提供

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼ 札幌市の公の施設であることに鑑み、公平性を重視した運営を行うため以下の方針を策定し、実施した。

- ① 公開抽選による施設申込
利用月 13 か月前の一斉受付による申込受付
- ② 随時予約による施設申込
一斉受付終了後、空き施設を先着順で受付
- ③ 優先受付による施設申込
長期の準備が必要かつ大規模な事業に限り、24 か月前の受付

▼ 特定団体の占用を防止し、多くの利用者への平等な利用を実現するため、連続利用を原則7日以内に制限している。

▼ 障がいについて学ぶ研修、接客・接客に関するOJTなどで、不当な差別的行為が発生しない体制づくりに取り組んだ。

▼ 筆談具やコミュニケーション支援ボード、貸出用車椅子などを設置し、障がいのある方が利用しやすい環境整備を行った。公式ホームページにおいては、外国語ページを設けることにより、外国人の方にも利用しやすい情報の提供を行っている。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ 「札幌市環境基本計画」に順じ、環境保護、コストの縮減、職員への環境意識の徹底に努めた。

具体的には、まず照明に関して、設備員との打合せを密にし施設貸出時間外の点灯を必要最小限に抑え、全館の照明スケジュールも定期的に見直すことで徹底的に節電に努めた。

また、主要施設の劇場の空調については、コロナウイルス感染症が終息し平常へと移行したことから全換気運転をインバーター運転に切換したことで、省エネルギーとの両立を図った。

- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、エネルギー等の使用実績を集計し、省エネルギーの推進に取り組んだ。
- ▼ 「さっぽろ創世スクエア」にて熱供給としては北海道初となるカーボンオフセットにより電力・熱由来のCO2排出量を実質ゼロ化する取り組みが令和6年7月1日より行われており、組合員として協力を行った。

▽ 管理運営組織の確立

(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 市民交流プラザ事業部長(館長)を施設の統括責任者として配置した。
- ▼ 職務内容に応じて正職員、契約職員、パート職員などを適正に配置するとともに、清掃、警備、設備などの維持管理委託業者を配置し、実効性の高い重層的な管理体制を構築した。
- ▼ 職員の事務分掌を作成し、業務分担を明確化した。

【従事者の確保・配置】

- ▼ 各課で行う事業特性や業務量を考慮し、適切な人員配置を行い、安定的に運営した。

【人材育成】

- ▼ 基礎的・専門的知識の向上のため、以下の職員研修を実施した。
 - ・ 4月 異動職員向け市民交流プラザ事業部概要説明会・施設見学会
 - ・ 4～6月 新採用研修、コンプライアンス研修
 - ・ 5月 普通救命講習
 - ・ 9～10月 コンプライアンス研修
 - ・ 9～11月 パソコン研修 (Excel)
 - ・ 12月 管理職マネジメント研修
 - ・ 2～3月 情報セキュリティポリシー研修
 - ・ 3月 防災訓練
 - ・ 3月 障がいについて知ろう
～心のバリアフリーとヘルプマーク～

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 事業部連絡会議、各課全体会議、課長会議、係長会議などを定期的を開催し、施設運営上の課題解決に向けて検討・協議を行い、事業部全体の業務水準の維持向上に努めた。
- ▼ 財団管理の各施設をネットワークで結び、共用のグループウェアソフトを活

用することで、迅速かつ効率的な情報共有・意思疎通を図っている。

また、財団共用の財務・会計システム利用により、予算執行状況の把握・各種伝票の起票を効率的に行っている。

- ▼ 事業部内では職員だけではなく、清掃・警備・設備・舞台技術等の常駐委託業者とも上記グループウェアソフトを活用し、情報共有・連絡伝達を行っている。情報共有の媒体を一元化することで、利用者・来館者への迅速かつ正確な対応に繋げている。
- ▼ 各常駐委託業者と月例会議（CS 会議）を行うほか、日常的に綿密な連絡体制を敷くことで、業務中に発生した問題等は速やかに報告を受け、対処を行った。
- ▼ ウェブアクセシビリティへの対応に留意し、JISX8341-3:2016 の適合レベル AA 準拠を維持した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

- ▼ 業務仕様書に基づき、安全な施設運営を行うために必要な専門性を有する人材の確保、及び適正な業務履行の徹底を要請した。
委託者側、受託者側双方に責任者を置き、常に業務の実施状況を共有したほか、受託者より提出を受けた業務完了報告書による履行確認を行った。
- ▼ 清掃、警備、設備など施設の維持管理業務や法定に基づく各種点検業務などを第三者に委託した。
- ▼ 館内にチケットセンターを設置し、当財団の主催公演や貸館利用者が開催する公演チケットの他、市内の文化施設で開催される公演チケットについて効果的で効率的に販売するため、市内業者に業務委託した。
- ▼ 広報誌「wave times+」を作成し、主催事業の紹介や公演・イベントのスケジュール、チケット販売状況などを発信している。校正等は委託業者と密に連携を取り、品質の維持・向上に努めた。
- ▼ 札幌文化芸術劇場は高度な舞台機構や音響・照明設備を備えていることから、それらの舞台設備を活用するため、高い専門性を持った舞台技術スタッフを配置するとともに、業務の一部を委託し、委託者と連携を図りながら業務を行った。
- ▼ 主催公演における劇場案内及びエスカレーター安全誘導、貸館公演におけるエスカレーター安全誘導及び劇場案内補助について、業務を効果的かつ合理的に実施するため、一括して専門的な知識または経験を有する専門事業者に委託した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼ 市民交流プラザ施設運営協議会の開催

| 開催回 | 協議・報告内容 |
|---|---|
| 第1回 (R6.6) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の施設の利用状況について ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について |
| 第2回 (R6.10) | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和6年4月～8月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について |
| 第3回 (R7.1) | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和6年4月～12月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について |
| 第4回 (R7.3) | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和6年4月～令和7年1月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について |
| <p><協議会メンバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会： 中央地区町内会連合会副会長 ・利用者： 音楽イベント企画会社代表 ・有識者： 大学教授 ・行政： 札幌市市民文化局文化部長 札幌市教育委員会 図書・情報館長 ・指定管理者： 市民交流プラザ館長 | |

▼ 政策推進連絡会の開催

| 開催回 | 協議・報告内容 |
|----------------|--|
| 第1回 (7月24日) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 各施設の重点取組事項について (2) 使用料手数料、基準管理費用（プラザのみ）の調整状況について (3) 予算編成時における文化部との連携について (4) 札幌市文化芸術基本計画について（報告） (5) 文化芸術施設改修工事等予定について (6) その他 |
| 第2回 (1月28日) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和7年度 市民交流プラザ関係予算の概要について (2) 利用料金の改定について (3) 市民交流プラザにおける令和6年度の予算執行見込 |

| | |
|--|---|
| | みと事業実施状況 (4) 市民交流プラザにおける令和7年度の予算と事業実施予定 (5) その他 |
|--|---|

▼ 札幌市関係部局及び利用者団体との連携、札幌市関係部局及び利用者団体や地域団体、住民などとの良好な連携体制を構築した。

①文化団体

- ・新国立劇場、東京バレエ団、K-BALLET TOKYO、モーリス・ベジャール・バレエ団、山海塾等、国内外トップクラスのバレエ公演等を実施した。
- ・北海道文化財団との共催事業としてニットキャップシアターの演劇公演を開催した。

②大学連携

- ・札幌大谷大学と連携し、学長によるオペラ解説動画を作成した。
- ・札幌大谷大学と連携し、主催事業の見どころ、聴きどころを解説するイベントを実施した。

③北海道テレビ放送株式会社（HTB）

- ・hitaru オペラプロジェクト、Creative Art Mix においてHTBの配信プラットフォームを活用し有料アーカイブ配信を実施した。（※hitaru オペラプロジェクトに関しては、撮影を令和6年度に実施し、配信は令和7年度に実施）

④創成おさんぽ MAP

- ・株式会社えんれいしゃと連携し、市民交流プラザ周辺地域の回遊及び活性化を目的に、近隣の飲食店、ホテル等 85 店舗と連携し、割引等のメンバーズ会員対象特典の提供を受け、創成おさんぽ MAP として配布した。

⑤札幌大通まちづくり株式会社

- ・広告協賛として、札幌大通まちづくり会社から西2丁目地下歩行空間の壁面広告枠の提供を受け、オフィシャルスポンサー制度や主催・共催事業についての広告を展開した。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとに区分した経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼ 現金等の取り扱いについては、現金取扱要綱を策定し、分任出納員として任命された職員による厳正な管理を行い、財団の内部監査や市による業務検査などで定期的な確認作業を行った。

▼ 現預金の入出金については、複数の職員による相互確認を実施し、不適切な処理が行われないようチェックした。

▼ インボイス制度の導入に伴い、インボイス対応の請求書や領収証を作成。会計システムを用いて適格請求書発行事業者を整理し管理している。

▼ 会計事務の電算化を進めて、可能な限り現金を直接取り扱うことのない仕組

みとした。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情は発生次第速やかに対応を検討し、担当する部署及び館長とも共有したうえで、対応を行った。

利用者・来館者から寄せられた要望・苦情については、関係する常駐委託業者とも情報共有を行い、利用サービスの向上に繋げた。

また、貸館諸室の場所が分かりづらいと声をいただくことが多いため、案内表示を増やすことで場所を明確化し、利用者・来館者の利便性向上に努めた。

- ▼ ホームページにお問い合わせフォームを設け、問い合わせや要望・苦情が寄せられた際には、図書・情報館やその他の関係部署を交え対応を検討し、電子メール等で迅速な回答を行うとともに、今後の利用サービスの向上に繋げた。
- ▼ 市の関わりが必要と考えられる要望・苦情については迅速に市に報告した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。

- ・ 事業日誌等
- ・ 管理業務に関する諸規定
- ・ 文書管理簿
- ・ 各年度の事業計画及び事業報告書
- ・ 収支予算・決算に関する帳簿
- ・ 金銭出納に関する帳簿
- ・ 物品の受払いに関する帳簿
- ・ 各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類

- ▼ セルフモニタリングについては、来館者、利用者、主催事業の参加者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、半年ごとに業務検査や財務検査を行い、業務に関する自己チェックを実施した。

- ▼ 札幌市への事業報告や事業評価等については、協定の定めに応じて提出をした。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上（事故の有無などの安全衛生面を含む）

- ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。

- ▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。

- ▼ 定期的に開催する役職者会議で職員の超過勤務時間を確認するとともに、適正な時間外勤務の執行に取り組み、職員の健康管理の増進及び仕事と家庭の調和の実現（ワークライフバランスの推進）に努めた。
また、札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業（ステップ3）として認証を受けているほか、4年計画で策定した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を現在遂行中である。
- ▼ 毎月の給与の計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務部署を通じて社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。
- ▼ 当財団衛生委員会要綱に準じ衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康維持、職場環境の向上に努めている。
- ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。また、各種相談窓口の設置を通じて、働きやすい職場づくりに努めている。
- ▼ 改正労働安全衛生法に基づき、職員の心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）及びその結果に基づく医師の面接指導を実施している。職員自身のストレスの程度を把握し、ストレスへの気付きを促すとともに、高ストレス状態にある職員が医師の面接指導を受け、必要な範囲で就業上の措置を講じることで、メンタルヘルス不調を未然に防止することに努めている。労働環境を向上させるため、年5日以上有給休暇の取得徹底や、業務の見直しなどによる時間外勤務の削減に努めた。
- ▼ 高齢者等雇用の安定等に関する法律に基づき、定年（61歳）退職後に、希望者を65歳まで継続雇用し、高齢者の雇用を促進した。
- ▼ 障がい者の雇用の促進等に関する法律に基づき、障がい者の雇用促進に積極的に取り組むとともに、当該雇用の実現に向けて、雇用支援機構と協議をした。

3 施設・設備等の維持管理業務

- ▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）
 - ▼ 拾得物及び遺失物は、さっぽろ創世スクエア管理組合と情報共有を図り、利用者からの問い合わせに対して即時に対応できるよう努めている。なお、一定の保管期間が経過し、引き取りのない拾得物や、貴重品については最寄りの警察署または交番に引き渡し、適切な処理に努めている。
 - ▼ 施設の環境の改善と安全性向上のため、定期的な巡回や点検を行っている。特に、施設内の共用スペースにおいては多数の来館者が往来するため、防犯カメラを設置・運用することで、非常時に的確・迅速に対応ができるよう備えている。
 - ▼ 緊急時の連絡体制を構築するとともに、指定管理の仕様書に記載されている内容の保険には、継続して加入している。

- ▼ 札幌文化芸術劇場の高度な舞台機構や音響・照明設備を、高い専門性を持った舞台技術スタッフを配置することにより、劇場の特性を最大限に生かした公演の運営・提供に努めた。
- ▼ 劇場公演における劇場案内及びエスカレーター的安全誘導を一括して専門的な知識または経験を有する専門事業者に委託し、利用者が安心して観劇できるよう努め、満足度向上に繋げた。
- ▼ 施設賠償責任保険（施設所有（管理）者賠償責任保険及び昇降機危険補償、マネー包括保険、受託者賠償責任保険、自動車管理者賠償責任保険）・施設災害補償保険に加入し、利用者及び職員への適切な補償体制を整備した。
また、施設賠償責任保険における賠償額は、対人・対物とも仕様書に示す基準補償額としている。
対人補償：10億円（1人5千万円）
対物補償：2千万円

- ▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）
 - ▼ プラザ内の各施設（劇場、センター、諸貸室）において、計画的な清掃・警備を行い、美化・安全確保に努めた。また、備付備品や貸出備品についても、定期的に点検を行い、常に利用者が最良の状態で使用できるよう維持・管理を行った。
 - ▼ 施設設備については、日常点検をはじめ、不具合が発生した際は早期発見・対応が可能なように設備保守の常駐委託事業者と密に連携を図った。
 - ▼ 施設などの修繕については、利用者に支障が生じないよう緊急度や破損の状況を考慮し、必要な初期対応を講じたうえで、職員または専門業者にて修繕を行い実施した。なお、緊急度が高いものについては札幌市に報告し、随時打合せを行いながら、損傷を最小限に抑えるよう努めた。
 - ▼ 備品管理については、日常・定期点検、専門業者による保守点検、清掃などを実施し、異常を早期発見するとともに、適正な管理を実施した。
 - ▼ 施設への搬出入用駐車場については、運用マニュアルを作成して管理運営を行い、警備員との連絡を密にして駐車場の利用者が安全、かつ円滑に駐車できるように努めた。なお、共用部（緑化等）はさっぽろ創世スクエアの管理組合が適切に管理している。

▽ 防災

- ▼ 令和6年10月に「避難訓練コンサート」を開催し、実際に来場者を動員し避難誘導をすることで、災害発生時の行動について訓練を行った。また同年度の3月には職員を対象としたオンラインでの研修を行い、防災に関する基本的な知識の再確認を行った。
- ▼ 札幌市民交流プラザ危機管理規程に基づき、危機管理マニュアルを策定している。危機が発生した場合の行動及び責任者等を定めることで、一般利用者及

び勤務する職員、あるいは当該施設等に重大な被害が及ぶ恐れがある様々な危機を想定し、事象が発生した場合における被害及び混乱を最小限に食い止め、来館者、職員及び施設の安全を確保することを目的としている。また、安全品質向上のため日々見直し改訂している。

4 事業の計画・実施業務

▽ 札幌文化芸術劇場に関する事業

令和5年3月末、文化庁が実施する助成金「舞台芸術等総合支援事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援）」に当館の提案した「次世代創造型劇場による魅力的地域文化推進事業」が選ばれ、開館から5年目にして北海道から初めての採択となった（全国の主要な国公立文化施設2,140館のうち本事業に採択されたのは12施設のみ）。

令和6年度は、5年間の事業計画2年目として、初年度に引き続き着実に事業の成果を挙げることができたと考える。

▼ 創造事業

hitaruを「創造の場」として地元で活躍する様々な芸術団体との連携のもと札幌発の実演芸術公演を展開し、質の高い芸術文化に触れる機会を市民に提供した。令和6年度は、地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得てhitaruを舞台としたオペラを創造・発信する「hitaru オペラプロジェクト」の第2回として、園田 隆一郎を指揮に、栗國 淳を演出に迎え、モーツァルトの名作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」を上演した。

また、これまで3年にわたって実施してきた、地元のアーティストとともに創造する「Creative Art Mix」シリーズの集大成として、「Creative Art Mix Vol. 3 Classical Jewels DX ～New World～」を開催した。

○hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」【自主事業】

期日：令和7年3月7日（金）、9日（日）

総入場者数：2,963人

《関連事業》

- ・モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」合唱オーディション

期日：令和6年4月13日（土）

応募者数：31人

- ・若手音楽家のための稽古見学会（音楽稽古）

期日：令和6年9月27日（金）～9月29日（日）

見学者数：延べ11人

- ・演出稽古見学会

期日：令和7年1月10日（金）

見学者数：116人

- ・「ドン・ジョヴァンニ」への誘い～ハイライト・コンサート

期日：令和7年1月19日（日）

入場者数 ; 1,056 人

○Creative Art Mix Vol. 3 Classical Jewels DX～New World～

期日 : 令和7年2月9日 (日)

総入場者数 : 1,083 人

《関連事業》

- ・Creative Art Mix Dance Workshop 2024

期日 : 令和6年7月22日 (月)、23日 (火)、28日 (日)

総参加者数 : 82 人

《配信事業》

- ・【有料アーカイブ配信】「Creative Art Mix Vol. 2～ Classical Jewels～」

期日 : 令和6年4月5日 (金)～5月26日 (日)

視聴回数 : 55 回

▼ 鑑賞事業

多面舞台と最新の舞台機構を生かし、世界水準のバレエ、ダンスなど本格的な舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で市民に提供した。また、親しみやすい内容の公演を低廉な入場料で開催し、幅広い層の市民に実演芸術の魅力を伝えた。

○新国立劇場バレエ団「アラジン」

期日 : 令和6年7月6日 (土)、7日 (日)

総入場者数 : 3,879 人

《関連事業》

- ・クラスレッスン見学会

期日 : 令和6年7月6日 (土)

参加者数 : 195 人

- ・バックステージツアー

期日 : 令和6年7月6日 (土)

参加者数 : 30 人

○山海塾「降りくるもののなかで一とばり」

期日 : 令和7年3月23日 (日)

入場者数 : 874 人

《関連事業》

- ・舞踏手によるワークショップ

期日 : 令和7年3月22日 (土)

参加者数 : 36 人

○hitaru のひととき

- ・「川井郁子 with 響 Duo」

期日 : 令和6年7月13日 (土)

入場者数 : 1,133 人

- ・BODY&SOUL Kids★Party (後掲)
- ・「ANÚNA 神秘のケルティック・コーラス」
期日：令和6年11月26日(火)
入場者数：1,486人
- 《関連事業》
- ・歌唱ワークショップ
期日：令和6年11月25日(月)
参加者数：60人
- Daiwa House PRESENTS 熊川 哲也 K-BALLET TOKYO Autumn Tour 2024『マーメイド』
期日：令和6年9月18日(水)
総入場者数：3,702人
- プラザフェスティバル2024 モーリス・ベジヤール・バレエ団 2024年日本公演「バレエ・フォー・ライフ」
期日：令和6年10月6日(日)
入場者数：1,577人
- 第9回北海道戯曲賞 大賞受賞作品
ニットキャップシアター 第45回公演「チェーホフも鳥の名前」
期日：令和6年8月24日(土)、25日(日)
総入場者数：283人
- ▼ 普及・育成事業
先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化の提供と、教育的価値の高い事業を展開した。
- 青少年向けバレエ鑑賞事業(鑑賞事業・配信事業)
鑑賞事業
期日：令和6年9月6日(金)
入場者数：1,969人(札幌市内中学校20校 他)
配信事業
期日：令和6年11月1日(金)～11月30日(土)
視聴人数：340人(札幌市内中学校8校)
- 「hitaruのひととき BODY&SOUL Kids★Party」
期日：令和6年11月16日(土)、17日(日)
参加者数：延べ230人
- hitaru オペラプロジェクト モーツァルト オペラ「ドン・ジョヴァンニ」関連事業
「ドン・ジョヴァンニ」への誘い～ハイライト・コンサート(再掲)
- 山海塾「降りくるもののなかでーとばり」関連事業
舞踏手によるワークショップ(再掲)
- Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX～New World～関連事業

Creative Art Mix Dance Workshop 2024 (再掲)

○hitaru バレエプロジェクト×札幌芸術の森バレエセミナー 公開講座
パリ・オペラ座バレエ団 ジル・イゾアールを迎えて

期日：令和6年8月9日(金)

参加者人数：91人

○ANUNA 神秘のケルティック・コーラス関連事業
歌唱ワークショップ(再掲)

○青年団 子ども参加型演劇 サンタクロース会議

期日：令和6年12月7日(土)、8日(日)

総入場者数：216人

《関連事業》

・平田オリザ講演会「わかりあえないことから in Sapporo」

期日：令和6年11月2日(土)

入場者数：124人

・中高生向け演劇ワークショップ「わかりあえないことから」を体験しよう

期日：令和6年11月3日(日・祝)

入場者数：43人

○〈連携事業〉札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業
アートプログラム2024「ドン・ジョヴァンニ」見どころ・聴きどころ

期日：令和6年12月13日(金)

入場者数：124人

○シネマシリーズ8 映画へと導く映画(横浜聡子監督)

期日：令和7年1月25日(土)

入場者数：149人

▼共催事業の誘致

これまで札幌での開催が少なかった魅力ある大規模公演等の誘致に向けた取り組みを進めた。

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第五回公演、アニメーション映画化や実写映画化もされた「この世界の片隅に」初のミュージカル上演、宮崎駿のアニメーション映画が原作の「舞台『千と千尋の神隠し』」の再演、1997年にスタートした歴史ある「HTB ジルベスターコンサート」の第27回公演を共催した。

①第五回さっぽろ落語まつり

期日：令和6年5月24日(金)～26日(日)

総入場者数：6,937人

②ミュージカル「この世界の片隅に」

期日：令和6年6月6日(木)～9日(日)

総入場者数：5,526人

③舞台「千と千尋の神隠し」

期日：令和6年6月15日(土)～20日(木)

総入場者数：18,464人

④2024 HTB ジルベスターコンサート

期日：令和6年12月31日（火）

総入場者数：1,607人

▼交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センターSCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な市民交流プラザの特性を生かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

○PLAZA FESTIVAL 2024

・モーリス・ベジャール・バレエ団 2024年日本公演「バレエ・フォー・ライフ」

期日：令和6年10月6日（日）

入場者数：1,577人

・札幌芸術の森クラフトキャラバン『秋のアトリエ』

・MORIHICO. マルシェ・ドゥ・グルニエ×プラザ・マルシェ

・アートセンターミーティングー地域の交流拠点を考えるー

・新千歳空港国際アニメーション映画祭プレゼンツ「アニメーション・トラベラーズ」

▼ 舞台技術向上に向けた取組

全道の創造型劇場の中核として、市内道内の舞台技術者の技術・技能の向上や知識・経験の共有を図るため、道内公共ホールや舞台技術業者、舞台系専門学校等に広く参加を呼びかけ、「第5回 hitaru 舞台技術セミナー」を開催した。

○第5回 hitaru 舞台技術セミナー 「舞台における器具の安全性～知っていますか？適正な荷重やトルク～」(令和7年1月21日（火）、22日（水）／札幌文化芸術劇場)

加えて、将来の舞台技術者の育成をはかる取組として、市内専門学校・大学の学生を対象に、劇場及びクリエイティブスタジオの施設見学会を開催した。

○学生向け hitaru 施設見学会 (令和6年4月23日（火）／札幌文化芸術劇場)
また、高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

①第1585回札幌市民劇場 札幌洋舞連盟ダンスパフォーマンス2024 (令和6年6月27日（木）、28日（金）／札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ)

②Gris Ballet スクールパフォーマンス2024 (令和6年8月2日（金）、3日（土）／ちえりあホール)

③DANCE HOUSE 15周年記念発表会 「ドン・キホーテ」全幕 (令和6年8月11日（日・祝）／札幌文化芸術劇場 hitaru)

④Maki Little Ballet Class バレエコンサート (令和6年8月14日（水）、15日（木）／札幌市民ホール)

- ⑤FAREWELL2024 くるみ割り人形全幕（令和6年12月3日（火）～5日（木）／札幌市教育文化会館 大ホール）
- ⑥より子・バレエ・スタジオ 40周年記念公演（令和6年12月13日（金）、14日（土）／札幌市教育文化会館 大ホール）
- ⑦第65回記念公演 子ども舞踊祭（令和7年3月26日（水）～28日（金）／札幌市教育文化会館 大ホール）

▽ 札幌文化芸術交流センターに関する事業

▼文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会の創出を通して、都心部ににぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、地域の魅力づくりに寄与するとともに、SCARTSの認知度向上に繋げた。

【SCARTS メディアアーツシリーズ】

①SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト

- ・「時間展望—もっと先の自分へ」

期日：令和6年8月1日（木）

入場者数：31人

- ・「荒木悠 双殻綱：幕間 BIVALVIA：INTERMISSION」

期日：令和7年2月15日（土）～3月2日（日）

入場者数：5,513人

〈関連プログラム〉

- ・ギャラリーツアー&ワークショップ

期日：令和7年2月16日（日）

参加者数：48人

- ・札幌アートコミュニケーターズプレゼンツ おしゃべりアート

期日：令和7年2月24日（月・祝）

参加者数：80人

②連携（共催・協力）事業

- ・Next Young Artist Award×SCARTS 連携トーク

「クリエイターが紡ぎ出す場所」

期日：令和6年11月3日（日・祝）

参加者数：40人

- ・北海道大学 CoSTEP 「IMAGINE HOME, SWEET HOME」

期日：令和6年11月6日（水）、7日（木）

参加者数：70人

- ・「市立高校プレゼンテーション大会 2024」

期日：令和7年3月9日（日）

参加者数：405人

【SCARTS 連携事業】

①大学連携コンサート

- ・北海道教育大学岩見沢校「新大陸とクラシック音楽」

期日：令和6年9月18日（水）、19日（木）

入場者数：140人

- ・札幌大谷大学「色づく旋律」

期日：令和6年10月30日（水）

入場者数：87人

- ・無料アーカイブ配信

期日：令和6年12月1日（日）～31日（火）

総再生数：776回

②柴田あゆみ かみがみの森 切りだす光に包まれる 切り絵の展覧会

期日：令和6年4月27日（土）～5月26日（日）

総入場者数：17,152人

〈関連プログラム〉

- ・柴田あゆみ スペシャルトークショー

期日：令和6年4月28日（日）

参加者数：122人

③NoMaps2024

期日：令和6年9月11日（水）～15日（日）

総入場者数：2,735人

④第53回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル

—展示・いけ花・お茶席部門—

期日：令和6年10月25日（金）～27日（日）

総入場者数：2,853人

⑤さっぽろアートステージ 2024

- ・20周年特別企画 メモリアルワークショップ&展示

期日：[ワークショップ]

令和6年11月9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）

[メモリアルパネル展示]

令和6年11月9日（土）～24日（日）

入場者数：402人

- ・University Student ART Competition

期日：令和6年11月9日（土）～24日（日）

入場者数：3,060人

- ・キッズアートフェス

期日：令和6年11月9日（土）～24日（日）

入場者数：1,476人

⑥SCARTS×さっぽろ天神山アートスタジオ「天神山、また、まちにいく。」

期日：令和7年2月8日（土）

参加者数：38人

⑦札幌市立大学デザイン学部公開講座「アートにであう」

期日：令和6年7月6日（土）

総参加者数：91人

⑧札幌市図書・情報館セミナー

期日：令和6年5月30日（木）～令和7年3月13日（木）

総入場者数：680人

- ・女性のための起業のヒント
- ・そろそろ気になる親のこと
～家族のために知っておきたい介護のはなし～
- ・クルマで届ける本との出会い ～自然体で進める起業～
- ・札幌市立大学デザイン学部 公開講座
『札幌の凹みスタディ 谷口顕一郎氏 アーティストトーク』（再掲）
- ・今日よりもっといい明日へ！
～自分をケアする簡単オフィスヨガ～
- ・捨てられるものをタカラモノに
- ・魚がいる未来を、選べ。
- ・知るぼると塾「インフレ時代のマネーセミナー」
- ・法テラス劇場「つける前に考える成年後見」
- ・感情と手をつなぐ ～働く私が輝くための第一歩～
- ・クリエイターが紡ぎ出す場所（再掲）
- ・はじめての創業セミナー
- ・“好き”を極めれば、毎日をもっと面白い！
ウェルビーイングな働き方とキャンプの魅力
- ・起業実現にむけた上手な相談のしかた

⑨彫美連続講座 2024

期日：6月1日（土）、10月19日（土）、3月15日（土）

総入場者数：262人

【SCARTS パブリックリレーションズ】

①西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

- ・西2丁目地下歩道映像上映

期日：令和6年4月1日（月）より通年

②プラザフェスティバル 2024

- ・アートセンターミーティング —地域の交流拠点を考える—

期日：令和6年10月4日（金）

入場者数：51人

- ・新千歳空港国際アニメーション映画祭プレゼンツ

「アニメーション・トラベラーズ」上映会&ワークショップ

期日：令和6年10月5日（土）

入場者数：65人

・プラフェスヒロバ

期日：令和6年10月4日（金）～6日（日）

総入場者数：560人

〈関連プログラム〉

・おでかけ本箱

期日：令和6年10月4日（金）～6日（日）

・ライブ・イン・ライブラリー

期日：令和6年10月6日（日）

参加者数：183人

・MORIHICO. マルシェ・ドゥ・グルニエ×プラザマルシェ

期日：令和6年10月4日（金）～6日（日）

総入場者数：53人

・札幌芸術の森クラフトキャラバン 森のわくわくワークショップ

期日：10月5日（土）～6日（日）

総入場者数：122人

▼文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップへの支援として、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する課題や悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座や相談会等も開催し、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境づくり、意欲的な企画を公募により実施する企画公募事業、札幌の文化芸術振興に寄与する質の高い活動を支援する助成金交付事業など、幅広い層を対象に様々な形でのサポートを行った。

【SCARTS サポート事業】

①SCARTS 相談サービス

②SCARTS ラーニングプログラム

公的支援を利用するために

—求められていることは何か、取り組みを見直してみる—

期日：令和6年10月20日（日）

参加者数：45人〈レクチャー〉、18人〈グループワーク〉、

9組〈相談会〉

③公募企画事業

・SCARTS 企画公募 2025

・ホネ茶論 2024

期日：令和6年7月12日（金）～13日（土）

入場者数：1,288人

〈関連プログラム〉

・似ホネ絵

期日：〈受付〉令和6年6月15日（土）～7月6日（土）

〈受渡〉令和6年7月12日（金）～7月13日（土）

参加者数：12人

・ホネならべ

期日：令和6年7月12日（金）

参加者数：36人

・グラス彫刻体験（恐竜骨格を彫ってみよう）

期日：令和6年7月12日（金）、7月13日（土）

参加者数：31人

・講演会「ホネは生きている」

期日：令和6年7月13日（土）

参加者数：30人

・命日

期日：令和6年8月24日（土）～9月1日（日）

入場者数：2,836人

〈関連プログラム〉

・アーティスト・ワークショップ

期日：令和6年8月25日（日）、31日（土）、9月1日（日）

参加者数：41人

・アーティスト・パフォーマンス

期日：令和6年9月1日（日）

参加者数：158人

・あわいのいきものたち 絵本作家が見る札幌の都市と自然

期日：令和6年10月12日（土）～20日（日）

入場者数：1,368人

〈関連プログラム〉

・ギャラリートーク

期日：令和6年10月12日（土）、20日（日）

参加者数：100人

・『あわいのいきもの』パフォーマンス

期日：令和6年10月14日（月・祝）、19日（土）

参加者数：53人

・『あわいのいきもの』顔はめ影絵お面づくり

期日：令和6年10月12日（土）、13日（日）

参加者数：16人

・「INTEG' Lab Festa～音と光で遊ぶ最前線」

期日：令和6年12月12日（木）～24日（火）

入場者数：873人

〈関連プログラム〉

・迫真型立体音響によるサウンドインスタレーション展示

期日：令和6年12月12日（木）～24日（火）

参加者数：298人

・公演①レーザー×映像×音響が描く空間アート

—後藤英『ペンローズの階段』を迎えて—

・公演②立体音響を操る 電子音楽演奏法 アコースモニウム

檜垣智也 アコースモニウムレクチャー&リサイタル

・公演③本堂誠 サクソフォンマスタークラス

・公演④北爪裕道：KYO-EN

—機会と人間のヴィルトゥオーゾ—

・公演⑤内門卓也 ピアノ伴奏法マスタークラス

④札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業【自主事業】

〈令和5年度〉

・令和5年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業 活動報告会

期日：令和6年4月13日（土）

参加者数：22人

〈令和6年度〉

特別助成事業2件、一般助成事業15件、総額700万円

・令和6年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業

助成金交付決定者説明会・交流会

期日：令和6年4月22日（月）

参加者数：17人

・令和6年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業 活動報告会

期日：令和7年3月29日（土）

参加者数：32人

〈令和7年度内定〉

特別助成事業2件、一般助成事業14件、総額700万円内定

・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業 募集説明会

期日：令和6年11月29日（金）、30日（土）

〈募集説明会〉〈個別相談会〉

参加者数：46人（募集説明会）、7組（個別相談会）

- ・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業 募集

期日：令和6年12月1日（日）～令和7年1月10日（金）

応募件数：106件（特別助成事業18件、一般助成事業88件）

- ・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業 審査委員会

期日：令和7年2月18日（火）

5 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

| | | R5 年度実績 | R6 年度実績 | 前年比 |
|-------------|--------|-----------|-----------|--------|
| 劇場 | 件数(件) | 284 | 265 | 93.3% |
| | 人数(人) | 356,807 | 338,788 | 94.9% |
| | 稼働率(%) | 92.4% | 85.1% | 92.1% |
| クリエイティブスタジオ | 件数(件) | 357 | 345 | 96.6% |
| | 人数(人) | 40,002 | 44,122 | 110.3% |
| | 稼働率(%) | 93.5% | 91.2% | 97.5% |
| 練習室等 | 件数(件) | 5,434 | 5,621 | 103.4% |
| | 人数(人) | 54,588 | 55,088 | 100.9% |
| | 稼働率(%) | 85.9% | 87.8% | 102.2% |
| センター | 件数(件) | 2,958 | 3,125 | 105.6% |
| | 人数(人) | 247,294 | 233,750 | 94.5% |
| | 稼働率(%) | 87.9% | 94.0% | 106.9% |
| 総来館者数(人) | | 1,523,758 | 1,561,125 | 102.5% |

▽ 不承認 0件、 取消し 54件、 減免 2,747件、 還付 66件

▽ 利用促進の取組

▼ 一斉受付実施の告知

ホームページにて、次回の一斉受付の告知を毎月行った。

▼ 利用者からのご要望の改善

利用者アンケートに基づき、利用者からのご要望のあった点を共有するとともに、改善に向けて検討を行った。

▼ 利用者登録制度の導入

定例的、継続的な諸室利用者がよりスムーズな申請手続きを行えるよう、利用者登録制度を導入し、登録者は申請から施設利用料の支払までを同時に行っている。

6 付随業務

▽ 広報業務

▼ 広報

① 広報誌作成と事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、広報誌等の印刷物やウェブサイト、SNS等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

(1) 広報誌「wave times+」

イベント情報誌「wave times+」は年6回発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。より多くの層に読んでいただけるよう、冊子版に加えてWEBマガジン版も公開した。また、財団内連携を強化することを目的とし、札幌市芸術文化財団が指定管理を行う6施設の内、市民交流プラザ以外の施設での事業を紹介するページを設けた。

(2) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、広報誌「wave times+」を配架した。

(3) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛枠等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やチラシの配架、ポスター広告の掲示等を行った。また、市民交流プラザの認知度、並びにアクセスについての情報を広く周知するため、15秒の広告動画をさっぽろ地下街の「AUMIRU ビジョン」「HILOSHI ビジョン」の2ヵ所で上映した。

② ホームページ、SNSなどを活用した広報

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛枠等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やチラシの配架、ポスター広告の掲示等を行った。また、市民交流プラザの認知度、並びにアクセスについての情報を広く周知するため、15秒の広告動画をさっぽろ地下街の「AUMIRU ビジョン」「HILOSHI ビジョン」の2ヵ所で上映した。

③ 来場者向け利用案内情報の発信

札幌市街から札幌文化芸術劇場に来場する人に向け、札幌市民交流プラザまでのアクセスやプラザ館内の利用方法などをまとめた案内を公式ホームページ上に掲載した。令和7年度には、観光分野連携の取り組みの一環として展開する。

④ メディア対応とプレスリリース

市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ掲載などに対応し、市民交流プラザの認知度を高めるとともに、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い、周知やチケット販売促進につなげた。

⑤その他の広報制作物

(1)「創成おさんぽ MAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、札幌市民交流プラザメンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子を作成し、メンバーズ（DM 会員）に送付したほか、協力店舗や札幌市民交流プラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、秋には SNS を活用した「#おさんぽ MAP キャンペーン」を実施した。

(2)「ホテルグルメ特集」

「創成おさんぽ MAP」に掲載のホテルについて、メンバーズ会員証の提示で受けられる特典をまとめた「ホテルグルメ特集」を年 3 回発行し、メンバーズ（DM 会員）に送付し、館内各所に配架したほか、メンバーズ（WEB 会員）にはピックアップ情報として定期的にメールマガジンにて発信した。

▼ 利用促進

①施設利用に関する営業

札幌文化芸術劇場 hitaru 及び札幌文化芸術交流センター SCARTS 諸室の貸館利用促進に向け、ホームページで施設の空き状況などの施設利用に関する情報を提供したほか、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致により、新たな客層の獲得を促進した。

②会員制度

(1) 会員制度の募集及び運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営。令和 7 年 3 月 31 日までに WEB 会員 53,536 人、DM 会員 582 人、計 54,118 人の会員を集めた。

(参考) 令和 5 年度：WEB 会員 48,933 人、DM 会員 633 人、計 49,566 人

(2) 会員特典

- ・メールマガジン配信（WEB 会員向け、原則 1 ヶ月に 2 回）
- ・ダイレクトメール送付（DM 会員向け、原則奇数月）
- ・hitaru 主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・会員向けイベントへの参加

③協賛制度の募集及び運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

令和 6 年度のスポンサーとして、法人 105 社、個人 48 人、計 153 件（8,678 万円及び広告枠）の協賛を獲得した。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼ 市内企業等の活用

施設の管理運営に必要な再委託業務について、概ね札幌市内に事業所を有する企業に発注した。

▼ 福祉施策への配慮

職員が着用するスタッフブルゾンの印刷作業や主催事業に係るちらしの封入作業を市内の福祉施設に発注したことに加え、設置している自動販売機のうち1台を、市内の社会福祉団体に依頼した。

7 利用者へのアンケート、利用者等からの主な意見、要望等

▽ 利用者アンケートの結果

| | |
|------------------|--|
| 実施方法 | 施設を利用する主催者および主催事業の来場者へアンケート用紙を配布するほか、館内にアンケート台を設置。施設・設備の使い勝手の良さや、職員対応等に対する意見・要望の把握に努めた。 |
| 結果概要 | 貸館利用者・主催事業の来場者の施設に対する総合的な満足度は96.1%、職員対応の満足度は98.4%であった(「満足」「おおむね満足」「普通」合計)。 また、貸館利用者の97.8%が「また利用したい」と回答した。 全体回答数：8,921件 |
| 利用者からの意見・要望とその対応 | ・時計が10分進んでいるので直してください。 →不具合が多かった電波時計からWi-Fi式の時計に更新した。 ・予約がネットでできるとありがたいです。 →R7年度のシステム更新に伴い実装予定である。 ・部屋、トイレ、館内キレイで気持ちよく使わせていただいております。 ・職員さんの対応にいつも感心しております。素敵な笑顔、わかりやすい説明ありがとうございます。 |

II 管理業務に係る収支決算

▽ 収支

(千円)

| 項目 | R6 年度計画 | R6 年度決算 | 差(決算-計画) |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 収入 | 1,543,944 | 1,541,254 | ▲ 2,690 |
| 指定管理業務収入 | 1,468,469 | 1,474,782 | 6,313 |
| 指定管理費 | 1,031,145 | 1,041,334 | 10,189 |
| 利用料金 | 244,792 | 243,315 | ▲ 1,477 |
| その他 | 192,532 | 190,133 | ▲ 2,399 |
| 自主事業収入 | 75,475 | 66,472 | ▲ 9,003 |
| 支出 | 1,584,164 | 1,504,783 | ▲ 79,381 |
| 指定管理業務支出 | 1,461,969 | 1,412,030 | ▲ 49,939 |
| 自主事業支出 | 122,195 | 92,753 | ▲ 29,442 |
| 収入-支出 | ▲ 40,220 | 36,471 | 76,691 |
| 利益還元 | | | 0 |
| 法人税等 | | | 0 |
| 純利益 | -40,220 | 36,471 | 76,691 |

▽ 説明

▼ 指定管理業務収入について

1. 指定管理費について

人件費および光熱費高騰分の補填を受けたことにより増収となった。

2. 利用料金収入について

当初計画より劇場の貸館稼働率が若干減少したものの、諸室の稼働率や物件利用が好調であり、ほぼ計画通りの収入となった。

3. その他収入について

舞台芸術等総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)の採択額の減少があったものの、文化芸術創造拠点形成事業の採択による助成金の増加などで補うことができた。

▼ 自主事業収入について

自主事業の再編により、入場料収入が減少した。

▼ 指定管理業務支出について

給与改定に伴う人件費増及び修繕費の増、物価高などの影響を受け一部科目で支出が増加した。一方、カーボンオフセットの開始による光熱水費の高騰を受け、部内全体で節電を心がけたことで計画よりも光熱水費を節約できたほか、各部門において経費節減に努めたことで当初計画よりも支出を抑えることができた。

▼ 自主事業支出について

自主事業の再編により、支出が減少した。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

1 飲食・物販事業

▽ カフェ、レストラン事業

施設の賑わいの創出とともに寛ぎの空間を提供することを目的に、カフェ「MORIHICO. 藝術劇場」及びレストラン「DAFNE」を営業。また、自動販売機を館内に7台設置している。

▼ レストラン「DAFNE」にて、クリスマスメニューやお節の販売、創世スクエアオフィス棟の企業へのフライヤーポスティング等、利用者のニーズに対応した営業を行った。

▼ 施設と各委託事業者の月例会議（CS 会議）に代表者1名が出席することとし、劇場・クリエイティブスタジオの公演情報（来場見込み等）を事前に共有することで、カフェ・レストランともに無駄のない営業に務めた。